**✅ 風水AI開発プロジェクト 引き継ぎ書（第◯スレッド終了時点）**

**1. 🔰プロジェクトの発端と目的**

当初、本プロジェクトは安藤さんが所有する風水関連原稿・知識・実践ノウハウをベースに、\*\*「AIと風水を融合させた補助ツールの開発」\*\*を目的としてスタートしました。

当面の目標は、

* Word文書などの膨大な原稿をAIが読み取り、内容を理解・応答できるようにする
* 実務現場でも使える **風水判断支援AI** を作成すること

であり、最終的には **商用化（売却も含む）** を視野に入れた知的資産の育成へと構想が発展しました。

**2. 📜これまでの進行経緯**

**【第1段階】環境構築**

* OpenAIのAPIキーを取得し、環境変数管理へ移行
* Python + VS Code にて .env 設定 → python-dotenv 導入完了
* PowerShell / VS CodeターミナルからAPI呼び出しの疎通確認済
* test.py（現在は check\_joshou.pyを使用中）にてAPI接続を確認（風水の質問に返答成功）

**【第2段階】原稿の管理と構造化**

* 「風水と科学が融合する時代」原稿.docx を読み取り対象とし、トークン制限問題を回避するため章・節に分割
* .docxファイルとして節単位で保存（画像付き維持）
* ファイル例：chapter6-2\_対談開始.docx（約12,596文字）→ Pythonスクリプトで読込成功
* 現在は .docx で管理・読込する手法に一本化し、画像削除を避ける方針に変更

**3. 🧠方針の修正と到達目標の更新**

当初は「API接続ベースで原稿内容を読ませる応答型AI」が中間目標でしたが、途中から方針転換がありました：

**✅【新方針】**

* **最終目標：風水AIの商用化・売却を含む知的財産化**
* ただし、当面は **ローカル運用ベースで中核ロジックを確立** し、プロトタイプの実現を優先する
* **KerasなどによるAI訓練は後回し**（※将来的にはモデルの独自化を検討）

**4. 📌現在の作業ポイントと課題**

**【現時点の主な着手項目】**

* check\_joshou.pyにて .docx原稿を読み込み、文字数や内容の確認が可能に
* 節単位でのファイル命名規則の確認・調整中（例：chapter0\_joshou.docx）
* 誤読や再読込ミスを避けるため、**VS Codeターミナルでの作業を統一**
* フォルダ構成や名称も再確認し、knowledge/chapters/配下で管理中

**【引き続き行う作業】**

* 節ごとの .docx を順次確認、内容に応じたスクリプト分割準備
* 中核ロジック（例：キーワード抽出・対話応答の整備）構築を並行して進める
* データベース化の可能性も視野に入れた構造検討（将来的なKeras対応への布石）

**5. 🏁備考**

* 本スレッドでは PowerShell / VS Code / Python 連携に多くの試行錯誤があった
* 今後は、\*\*「正確に読む・誤解しない」\*\*という基本を常に再確認しつつ進行
* 安藤さんの労力を減らし、精度を高める体制の構築が肝要

**✅ 次スレッドへの明確な引継ぎ事項**

1. .docx節ファイルの確認と読み込みテストの継続
2. 応答ロジックの中核機能構築（例：特定質問への要点抽出応答）
3. スクリプト名・ファイル名・保存場所の整合性を最優先で保持
4. VS Code上での統一操作（PowerShell作業混乱の回避）
5. 今後は最終的な商用化に向け、仕様整理・プロト構築を計画的に進行